

# 白石高だより

# 夢を形に



©佐賀県立白石高等学校 E-mail: shiroishikoukou-n@education.saga.jp 【普通科キャンパス】〒849-1101佐賀県杵島郡白石町大字今泉138番地1 Tel0952-84-2131 (代表) FAX0952-71-5008 E-mail: shiroishikoukou-f@education.saga.jp

## 令和二年度 新任式

四月六日（月）、十名の先生方をお迎えして新任式が行われました。

新任者を代表して岸川美和子校長先生が「いよいよ令和二年度新学期が始まりました。今年度新しく普通科キャンパスに十名、商業科キャンパスに八名が転任して参りました。皆さんに会うのをとてもわくわくしながら待っていました。新型コロナウイルスの影響でいつもとは違う始業式になりましたが、私たちも一所懸命、皆さんと一緒に学校生活を送れますように頑張っていきたいと思えます。どうかよろしく願います。」と挨拶されました。

続いて、生徒会長が「先日の退任式では先生方との別れが懐かしいものになりました。まい、多くの生徒が寂しい思いをしました。しかし、本日は皆さんの先生方と無事に対面できたことをとてもうれしく思います。この白石高校は、多くの生徒が活力にみなぎり、毎日元氣よく学校生活を送っています。新たな先生方と、これから学校生活をともに送れることがとても楽しみです。どうぞよろしく願います。」と歓迎のことばを述べました。



## 令和元年度 退任式

三月二十四日、退任式が行われ、十四名の先生方をお送りしました。それぞれの先生方が白石高校への熱い思いを語り下されました。

### 《転出された先生》

- ・徳廣 正毅 校長 非常勤講師として白石高校普通科へ
- ・柊島 秀樹 教頭 多久高校へ
- ・副島 博孝 先生 主幹教諭として鹿島高校大手門校舎へ
- ・緒方 秀樹 先生 多久高校へ
- ・荒木 陽子 先生 鹿島高校赤門校舎へ
- ・平川 宣明 先生 唐津工業高校へ
- ・深江 武義 先生 鳥栖高校へ
- ・中島 啓太 先生 唐津東高校へ
- ・松尾 一志 先生 神埼高校へ
- ・野中沙緒里 先生 中原特別支援学校へ
- ・林田 美里 先生 白石高校商業科へ
- ・徳永 義昭 先生 退職
- ・於保 孝子 先生 佐賀北高校へ
- ・宮本 奈美 先生 伊万里高校へ

先生方には大変お世話になりました。また新たな道でのご活躍を期待しています。

※新任の先生方は、「白石高校新聞第1号」で紹介する予定です。



## 令和二年度 始業式

四月六日（月）、新任式に続いて令和二年度始業式が行われました。

岸川校長先生が「始業式を迎えられることがどんなにすばらしいことか、感動しています。令和二年度新学期が始まりました。今年は全学年そろって、普通科キャンパスも商業科キャンパスも、三学年五クラス体制で新しい歴史の一ページを開きたいと思います。学校教育目標の中に、「地域に愛され、信頼される学校」・「グローバル化に対応できる力を育成する学校」という目標があります。今年は皆さんに“Think globally・act locally.”ということを伝えていきたいと思っています。「地域規模で考え、足元から行動せよ」ということは、つまり地域の課題を見つけ、それがグローバルなことにつながっていることを学ぶということです。皆さんには自分の意見を持ちながら、他人の意見を柔軟に取り入れられる生徒になつてもらいたいと思います。私も先生方と一丸となって皆さんを支援していきたいと思います。そして、普通科三クラス、商業科二クラス、同じ白石高校の生徒として、心を一つにして取り組んでいきたいと思えます。これから白石高校が発展していくように、令和二年度、皆さんと一緒に頑張つていきます。」と訓示を述べられました。

そして、諸連絡の後に生徒会長が「私が生徒会長になった理由は、変化を与えたかったからです。私の好きな言葉の一つにウォルト・ディズニの「現状維持のままでは後退するばかりである」があります。現状維持は前例があつて、その通りにすれば簡単であり、安定した結果が得られるけれども、常に周囲の環境は成長し変化して、現状維持を続けているところは後退していることとなります。だから、変化の結果が成功であれ、失敗であれ、変化をしていくことが大切だと思います。変化を加えないと成長は絶対ないと思います。変化することを恐れないで一步を踏み出してほしい。その先に、もしかしたら今の自分とは違う、成長した自分が待っているかもしれません。皆さんもそのような一步を踏み出してもらえたら、と思います。」と抱負を述べました。



## 令和二年度 入学式

四月八日（水）、令和二年度入学式が普通科キャンパス体育館で行われました。

新しい制服に身を包んだ百八八名の新入生が、新白石高校の第三期生として高校生活の第一歩を踏み出しました。

岸川校長先生は「百八八名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本年度、すべての学年がそろい、白石高校の新たな歴史の一ページを開きます。皆さんは、日頃は普通科と商業科と、異なるキャンパスで学びますが、学校行事や部活動は同じ白石高校の生徒として一緒に活動します。新たな伝統の担い手として、積極的に、すべて心一つにして頑張ってください。今日から白石高校の生徒としての生活が始まります。これからの学校生活が、皆さんにとって将来の進路の方向性を決める、重要な三年間です。高い志を持って、夢の実現に向けて、粘り強く努力してください。」

本校の学校教育目標の中に、「地域に愛され、信頼される学校」・「グローバル化に対応できる力を育成する学校」ということばがあります。言い換えると、「Think globally, act locally」、地球規模で、世界規模でものこを考え、想像することができる人、自分の意見をしっかりと持ち、発信することができる人、人の意見を受け止め、柔軟に考えることができる人、地域や、周囲の人を思いやり、活躍できる人、そのような大人になつてほしいと願います。本校校長として、ここで学びたい、保護者の皆様がここに通わせて良かった、地域の方々が声をかけて力を貸したい、応援したいと思える学校作りを皆さんと目指していきたいと思えます。」と式辞を述べられました。



最後に、新入生代表が「私たち百八八名は入学を許可されまして、喜びにたえません。入学を許可されました以上、校則を守り学業に励むことを誓います。」と宣誓の言葉を述べました。  
この日よりすべての学年がそろい、新生白石高校の完成年度となる令和二年度が本格的にスタートしました。新入生の皆さん、入学おめでとうございます。キャンパスは離れていますが、白石高校の生徒として心一つに、お互いに切磋琢磨していきましょう。



## 令和二年度対面式

四月九日（木）、普通科キャンパス体育館で対面式・部活動紹介が行われました。

対面式では、始めに普通科キャンパス生徒会長が「白石高校は清明・自立・創造という校訓のもとに、勉強と部活動の文武両道を目指し、生徒一人一人が自ら掲げた夢を形にできるように、日々邁進している学校です。新入生の皆さんは入学したばかりで、わからないことも多いかと思いますが、そんなときには私たち先輩に気軽に声をかけてください。是非、皆さんの力になりたいと思っています。そして皆さんが早く学校に慣れ、一丸となって新たな白石高校の伝統を作っていきましょう。」と歓迎のことばを述べました。

そして、新入生代表の生徒が「一日も早く、高校生活に慣れ、先輩方に追いつくように、また、夢を実現できるように努力をしていきますので、力をお貸しください。」とあいさつしました。

普通科キャンパス・商業科キャンパス生徒会役員の紹介に続いて部活動紹介が行われ、普通科キャンパス・商業科キャンパスで活動する部活動の代表生徒が、それぞれの活動について紹介しました。

白石高校生らしく、文武両道を目指して頑張ってください。

